

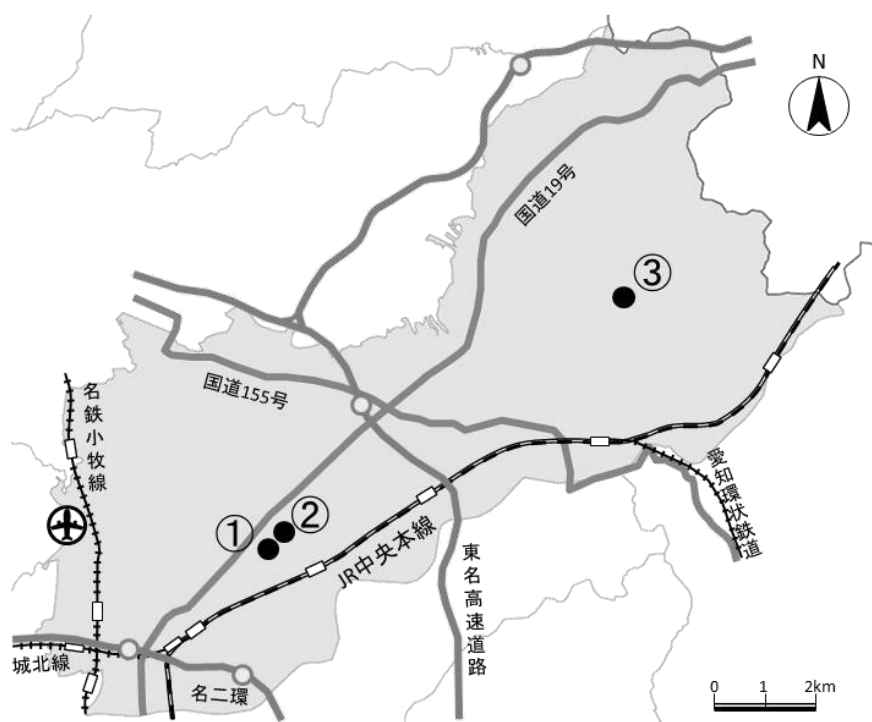
第2次かすがい市民文化振興プラン＜改定版＞
令和 5 年度進捗状況報告書

令和6年8月

春日井市

■ 市内の文化芸術施設

①市民会館	②文化フォーラム春日井	③東部市民センター
		
春日井市鳥居松町5丁目	春日井市鳥居松町5丁目	春日井市中央台2丁目
1966年（S41年）1月開館	1999年（H11年）11月開館	1983年（S58年）6月開館
大ホール（1,022席）、 楽屋（8室）ほか	視聴覚ホール（198席）、 ギャラリー（329㎡）、図書館、 交流アトリウム、会議室、文化活 動室、和室（茶室）ほか	ホール（495席）、セミコンサート・ リハーサル室、音楽室（2室）、 軽運動室（2室）、集会室（3 室）、料理教室、和室ほか
		
市民会館舞台から客席を望む	視聴覚ホール客席・舞台	東部市民センター舞台
ピアノ3台（ホール2台、楽屋 1台）	ピアノ2台（視聴覚ホール・交流 アトリウム共用）	ピアノ3台（ホール1台、セミコンサ ート・リハーサル室1台、音楽室1台）



目次

1	第2次かすがい市民文化振興プラン＜改定版＞の概要	1
1	基本理念	1
2	基本目標	2
3	施策の体系	3
2	令和5年度進捗状況点検・評価	5
1	施策ごとの点検評価	6
	<u>基本目標1 「春日井文化」の創造と継承</u>	6
	施策1 特色ある文化「書のまち」「自分史」の推進	6
	施策2 文化が育つ拠点施設の充実	15
	施策3 文化芸術を担う人材の育成	19
	施策4 市民による文化芸術活動の推進	24
	施策5 市民メセナ活動の推進	28
	<u>基本目標2 誰もが文化芸術に親しむことのできる環境の整備</u>	31
	施策6 鑑賞機会の充実	31
	施策7 子どもの文化芸術活動の充実	37
	施策8 高齢者や障がいのある人の文化芸術活動の推進	41
	施策9 受け手に合わせた情報発信の拡充	44
	<u>基本目標3 地域の資産を活用した地域力の向上</u>	48
	施策10 文化財・民俗芸能の保存・継承	48
	施策11 文化による地域の活性化	51
	施策12 様々な分野との連携	54
2	プラン全体の進捗状況の評価	57

1 第2次かすがい市民文化振興プラン＜改定版＞の概要

1 基本理念



第2次かすがい市民文化振興プラン＜改定版＞（令和5年3月改定）では、「文化・スポーツ都市」宣言の趣旨を受け、また文化振興基本条例で定められている基本理念を実現するため、「世代を越えて響き合う 文化創造のまち春日井」を2027年度の目指すべき姿とし、基本理念として設定しています。

世代を越えて響き合う 文化創造のまち春日井

● 春日井市文化振興基本条例における基本理念 ●

- 1 市民一人ひとりの自主性・創造性の尊重
- 2 市民・企業等・文化財団・市の協働
- 3 すべての市民が文化活動を行うことができる環境の整備
- 4 多彩な分野・多様な水準にわたる文化の保護・発展
- 5 市民の意見の反映

● 文化・スポーツ都市宣言 ●

文化やスポーツは、心豊かな生活やいきがづくり、健康づくりに必要なものであるとともに、地域に対する愛着や誇りを育て、地域コミュニティの醸成に大きな役割を果たします。

私たちは、文化やスポーツの持つ力を改めて認識しつつ、市民、企業等及び市が一体となって、明るく心豊かで活力あるまちをめざし、「文化・スポーツ都市」を宣言します。

- 1 私たちは、文化を愛し、創造と継承の心を育みます
- 1 私たちは、スポーツに親しみ、健やかな心と体をつくります
- 1 私たちは、文化やスポーツを通して地域の絆を深め、すべての市民がいきいきと暮らせるまちをつくります

2 基本目標



第2次かすがい市民文化振興プラン（平成29年3月策定）では、基本目標を「参加と体験による文化が生まれる環境づくり」、「特色ある「春日井文化」の継承・創造」、「文化を通じた連携のまちづくり」としていましたが、第2次かすがい市民文化振興プラン＜改定版＞では、様々な課題の解決に向けて、特色ある文化の創造と継承、誰もが文化芸術に親しめる環境づくり、地域の資産を活用する観点から施策を整理し直し、基本目標を次のとおり設定しました。

基本目標Ⅰ



「春日井文化」の創造と継承

「書のまち春日井」や自分史、市民メセナ活動など本市の特徴的な文化的取組み＝「春日井文化」の普及啓発を推進し、あわせて拠点となる施設の活性化を図ります。

また、子どもたちから高齢者まで幅広い年代の人たちが文化芸術活動を通じ、それぞれが文化の担い手として自己実現を果たすことのできる環境を整備します。

基本目標Ⅱ



誰もが文化芸術に親しむことのできる環境の整備

すべての市民が、年齢や障がいの有無、経済的な状況等にかかわらず、文化芸術を鑑賞することができ、創造等を行うことができる環境づくりに取り組みます。

また、あらゆる年齢や環境の人が文化芸術に関する情報を受け取ることができるよう、情報発信の拡充に努めます。

基本目標Ⅲ



地域の資産を活用した地域力の向上

本市の長い歴史の中で、人々の営みにより培われてきた貴重な文化財や地域の伝統文化を保護・保存し、未来に継承していく取組みを推進します。また、これら豊かな歴史・文化資産の調査研究を進め、その成果を公開・活用することで、地域の活性化に結びつくよう取り組みます。

あわせて、地域の大学や企業など、幅広い分野の団体との連携をさらに進め、文化芸術を振興し、文化芸術で振興するまちづくりを推進します。



基本理念	基本目標	施策
世代を越えて響き合う 文化創造のまち春日井	基本目標Ⅰ 「春日井文化」の創造と継承	1 特色ある文化「書のまち」「自分史」の推進
		2 文化が育つ拠点施設の充実
		3 文化芸術を担う人材の育成
		4 市民による文化芸術活動の推進
		5 市民メセナ活動の推進
	基本目標Ⅱ 誰もが文化芸術に親しむことのできる環境の整備	6 鑑賞機会の充実
		7 子どもの文化芸術活動の充実
		8 高齢者や障がいのある人の文化芸術活動の推進
		9 受け手に合わせた情報発信の拡充
	基本目標Ⅲ 地域の資産を活用した地域力の向上	10 文化財・民俗芸能の保存・継承
		11 文化による地域の活性化
		12 様々な分野との連携

取組み

- | | |
|------------------------|----------------------------|
| 1 「書のまち春日井」を発信する取組みの推進 | 2 道風記念館の魅力を発信する取組みの推進 <新規> |
| 3 書を鑑賞し、書について学ぶ機会の提供 | 4 書に取り組み、書を発表する機会の提供 |
| 5 自分史の魅力を発信する取組みの推進 | 6 自分史に取り組み、作品を発表する機会の提供 |
| 7 自分史事業と他の分野との連携 | 8 新たに自分史に取り組む人を呼び込む取組みの検討 |

- | |
|---|
| 9 施設の長寿命化を図り、安心して快適に利用できる文化施設の整備、管理 |
| 10 文化芸術の拠点となる市民会館、文化フォーラム春日井、東部市民センターの魅力ある運営 <新規> |
| 11 市民会館の今後のあり方の検討 <新規> |
| 12 文化芸術拠点施設での文化芸術の創造と地域への展開 <新規> |

- | |
|---------------------------------------|
| 13 若手芸術家の育成、活動機会の提供 |
| 14 子どもから高齢者まで幅広い世代の文化芸術活動の支援 |
| 15 社会教育施設等と連携した文化芸術活動を始めるきっかけづくり <新規> |
| 16 若手芸術家などを指導者として地域に派遣する取組みの検討 <新規> |

- | |
|-------------------------|
| 17 市民の文化芸術活動の発表の場の提供 |
| 18 市民の文化芸術活動の場の提供 |
| 19 市民の文化芸術活動を支援する取組みの推進 |

- | |
|------------------------------|
| 20 市民メセナ活動を広くPR する取組みの推進 |
| 21 文化ボランティア活動の推進と支援 |
| 22 市民メセナ基金を継続的に活用するための取組みの推進 |

- | |
|---|
| 23 幅広い文化芸術を鑑賞する機会の充実 |
| 24 アウトリーチ事業等による普及啓発の拡充 |
| 25 オンラインを活用した鑑賞機会の提供とオンライン鑑賞を手助けする取組みの推進 <新規> |

- | |
|------------------------|
| 26 子どもが文化芸術を鑑賞する機会の充実 |
| 27 子どもが文化芸術を体験できる機会の充実 |
| 28 青少年の文化芸術鑑賞に対する支援 |

- | |
|-----------------------------|
| 29 高齢者や障がいのある人の鑑賞機会の充実 |
| 30 高齢者や障がいのある人の発表機会の提供 <新規> |

- | |
|---|
| 31 受け手に合わせた多様な情報発信の充実 |
| 32 社会教育施設等での文化芸術活動の情報の発信 <新規> |
| 33 近隣自治体や民間文化施設、民間生活情報誌等と連携した情報の発信 |
| 34 文化芸術に関する情報に接する機会が少ない市民への情報提供手段の検討 <新規> |

- | |
|-----------------------------|
| 35 文化財に関する調査の継続と調査成果の活用 |
| 36 文化財や民俗芸能等を保存・継承する取組みへの支援 |

- | |
|------------------------------------|
| 37 地域に残る文化財・民俗芸能を活用する取組みの推進 |
| 38 文化芸術を媒介とした地域が活性化するような取組みの推進及び支援 |

- | |
|--|
| 39 文化芸術に係る教育機関や企業及び民間団体等と連携した取組みの推進 |
| 40 観光、まちづくり、国際交流、福祉、教育、産業、スポーツ等の分野と連携した取組みの推進 <新規> |

2 令和5年度進捗状況点検・評価

第2次かすがい市民文化振興プラン＜改定版＞の進捗状況について、令和6年7月23日開催の令和6年度第1回春日井市文化振興審議会において春日井市（いしがき創生部文化スポーツ振興課）より令和5年度の進捗状況を報告し、文化振興審議会の点検・評価を受けたものです。

＜凡例＞

各事業の達成度（自己評価）については、次の6段階で評価を行った。

- a 実施し、計画以上の成果が得られた。
- b 実施し、計画程度の成果が得られた。
- c 次年度以降の実施に向け、検討を行った。
- d 実施したが、計画どおりの成果は得られなかった。
- e 検討したが、実施に至らなかった。
- f 実施・検討に至らなかった。

本プランが対象とする「文化芸術」は、文化芸術基本法に規定される芸術、メディア芸術、伝統芸能、民俗芸能、芸能、生活文化等、文化財を主な範囲とします。

分野	例
芸術	文学、音楽、美術（書を含む※）、写真、演劇、舞踊その他の芸術
メディア芸術	映画、漫画、アニメーション、コンピュータその他の電子機器等を利用した芸術
伝統芸能	雅楽、能楽、文楽、歌舞伎、組踊その他わが国古来の伝統的な芸能
民俗芸能	棒の手、神楽、田楽、獅子舞その他地域の人々によって行われる民俗的な芸能
芸能	講談、落語、浪曲、漫談、漫才、歌唱その他の芸能
生活文化等	生活文化（茶道、華道、書道※、食文化その他の生活に係る文化）、国民娯楽（囲碁、将棋その他の国民的娯楽）並びに出版物及びレコード等
文化財	有形・無形の文化財並びにその保存技術

※「書」については、美術の一環として捉える考え方と、「書道」として生活文化の一環として捉える考え方があります。

春日井市では、古くから書を芸術として捉え取り組む市民が多いことから、「書」を美術の一環として位置づけています。

1 施策ごとの点検評価



基本目標Ⅰ



SDGs 目標 11

住み続けられるまちづくりを

「春日井文化」の創造と継承

施策1 特色ある文化「書のまち」「自分史」の推進

No.	取組み	主な内容
1	「書のまち春日井」を発信する取組みの推進	●あらゆる人に書を身近に感じてもらえるような事業の実施 ●庁舎壁面などを活用した啓発物の拡充 ●マスコットキャラクター「道風くん」の活用 ●市主催事業等や、商業施設等での書に関するイベントや体験講座の実施

令和4年度の実績	令和5年度の実績	事業実施の成果	達成度 (自己評価)
春日井まつりでの書道パフォーマンス大会 「Kasugai ザ道風」 市内外の高校書道部、大学書道部が出場	春日井まつりでの書道パフォーマンス大会 「Kasugai ザ道風」 市内外の高校書道部、大学書道部が出場	市を代表するまつりで「書のまち春日井」ならではの催事を行い、多くの市民に鑑賞の機会を提供することができた。	b 市民生活課
新生児向け命名紙入り写真立てプレゼント 2,465 件	新生児向け命名紙入り写真立てプレゼント 2,032 件	「書のまちらしい記念品で良かった」と、保護者から好評を得ることができた。	b 文化スポーツ振興課
わ〜く書っぷ(書家派遣事業)実施プログラム3、実施回数10回	わ〜く書っぷ(書家派遣事業)実施プログラム5、実施回数11回	保育園、学校、福祉施設等へ出向き、書を体験する機会を提供することができた。	b 文化スポーツ振興課
年賀状用写真撮影スポットの設置	年賀状用写真撮影スポットの設置	書家揮毫文字を用いて作成したタペストリーを設置し、幅広い層に書のまちをP	b 文化スポーツ振興課

道風展の会場や子育て支援施設等5か所	道風展の会場や子育て支援施設等5か所	Rすることができた。	
年賀状作品展 年賀状を募集し、集まった515点を文化フォーラム等で展示	年賀状作品展 年賀状を募集し、集まった760点を文化フォーラム等で展示	子供から大人までが筆で書いた年賀状を展示し、書のまちを実感できる機会を提供することができた。	b 文化スポーツ振興課
「書のまち春日井横断幕」庁舎北壁面の横断幕を更新	「書のまち春日井横断幕」庁舎南北の壁面で横断幕掲出を継続	筆で書かれた「書のまち春日井」がPR効果を高めており、よく目立つと好評。	b 文化スポーツ振興課
マスコットキャラクター道風くんの活用 商標の使用66件 着ぐるみの貸出54件	マスコットキャラクター道風くんの活用 商標の使用44件 着ぐるみの貸出61件	子どもだけでなく幅広い層に認知されており、企業等や町内会など幅広い層に道風くんが活用された。	b 文化スポーツ振興課
道風くんグッズの販売 公共施設12か所、委託販売4か所	道風くんグッズの販売 公共施設12か所、委託販売4か所	市制80周年を記念して販売したグッズもあり、幅広い層に購入いただいた。	b 文化スポーツ振興課
春日井まつりで書道体験コーナーを設置	春日井まつりで書道体験コーナーを設置	未就学児や小学生を中心に、一般の方にも書道を体験してもらうことができた。	b 市民生活課 文化スポーツ振興課
市内商業施設で書道体験イベントを5回、あいち市町村フェア等で書道パフォーマンスを4回実施	市内商業施設で書道体験イベントを5回、書道パフォーマンスを2回実施	市内高校・大学書道部等の協力を得て、市内外の幅広い層に書道を体験してもらい、書のまちをPRすることができた。	b 文化スポーツ振興課



全国的にも数少ない書専門の美術館
道風記念館



©Kasugai City 2008
書のまち春日井「道風くん」

No.	取組み	主な内容
2	道風記念館の魅力を発信する取組みの推進 ＜新規＞	● 道風記念館を PR する事業の実施 ● 道風記念館だよりや公式 HP による広報 ● 他の媒体を活用した広報の充実

令和4年度の実績	令和5年度の実績	事業実施の成果	達成度 (自己評価)
市民会館の催し物の来場者へ書のまち春日井 PRコラムを配付	市民会館の催し物の来場者へ書のまち春日井 PRコラムを配付	市民会館の催事と、道風記念館の展示作品を絡めたコラムを道風記念館学芸員が執筆。新たな視点で面白いと好評を得ている。	b 文化財団 道風記念館
道風記念館だより(B5判4頁、モノクロ)を年4回 3,000 部発行 展覧会情報や研究者による書に関する連載記事等、有益な書の情報を掲載	道風記念館だより(B5判4頁、モノクロ)を年4回 3,000 部発行 展覧会情報や研究者による書に関する連載記事等、有益な書の情報を掲載	館内及び市内公共施設、全国の美術博物館や書関係美術館、道風記念館事業協力者などへ配布するとともに、ホームページに掲載し、広く道風記念館を PR することができた。	b 道風記念館
市公式動画配信チャンネルで特別展の情報等を放送	市公式動画配信チャンネルで特別展の情報等を放送	幅広い層を対象に、道風記念館をPRすることができた。	b 道風記念館
愛知県生涯学習情報提供システム「学びネットあいち」、愛知県博物館協会 HP、日本観光振興協会「観るなび」、Internet Museum DNP Museum information Japan 「art sBape」、子供とお出かけ情報サイト「いこーよ」	愛知県生涯学習情報提供システム「学びネットあいち」、愛知県博物館協会 HP、日本観光振興協会「観るなび」、Internet Museum DNP Museum information Japan 「art sBape」、子供とお出かけ情報サイト「いこーよ」	愛知県など市以外が運営する情報サイトを活用することで、幅広い層に情報発信を行うことができた。	b 道風記念館

No.	取組み	主な内容
3	書を鑑賞し、書について学ぶ機会の提供	●道風記念館での展覧会の開催 ●道風記念館での展覧会に関する講座の開催

令和4年度の実績	令和5年度の実績	事業実施の成果	達成度 (自己評価)
特別展「生誕110年記念 比田井南谷～線の芸術～」612人 企画展「松下芝堂」1,301人、企画展「おののとうふう～道風が生きた時代～」949人 館蔵品展「書の魅力」484人、「俳句の書表現」3,235人、「白と黒のコントラスト」538人 年間観覧者 7,517人	特別展「人と書～日本の書の息吹～」717人 企画展「中国名碑拓本展」1,484人、企画展「おののとうふう～和様の書をつくった三跡～」1,156人 館蔵品展「書の魅力」586人、「書に想いをのせる（前期／後期）」2,367人 年間観覧者 6,465人	書を専門とし、毎回異なったテーマを設け、全ての展示を自主企画し、専門家から高評価を得る質の高い展覧会を開催することができた。	b
特別展関連企画講演会1回 館蔵品展「書の魅力」学芸員による展示品解説4回、「俳句の書表現」学芸員による展示品解説4回、「白と黒のコントラスト」学芸員による展示品解説4回	特別展関連企画講演会1回 館蔵品展「書の魅力」学芸員による展示品解説4回、「書に想いをのせる」学芸員による展示品解説4回	特別展の関連企画となる講演会や、館蔵品展の展示品解説を行い、鑑賞者の書に関する知識や理解を深めることができた。	b
			道風記念館

No.	取組み	主な内容
4	書に取り組み、書を発表する機会の提供	●道風展、道風の書臨書作品展などの開催 ●小学校における書道科の実施 ●公民館等での書に関する講座の実施

令和4年度の実績	令和5年度の実績	事業実施の成果	達成度 (自己評価)
第74回道風展 出品数：一般部 293点、学生部 5,195点、計 5,488点	第75回道風展 出品数：一般部 353点、学生部 5,541点、計 5,894点	書に力を入れている全国の高校に出品を依頼するなど「書のまち春日井」を全国発信するとともに、高いレベルの作品が数多く寄せられ、書道文化の振興を図ることができた。	b 文化スポーツ振興課
第41回道風の書臨書作品展 出品数：一般部/屏風土代 247点、小島切 224点、高校生の部/屏風土代 2,230点、継色紙 190点、合計 2,891点	第42回道風の書臨書作品展 出品数：一般部/詩懷紙 215点、秋萩帖 273点、高校生の部/玉泉帖 2,230点、本阿弥切 148点、合計 2,866点	小野道風を始めとした三跡の和様の書を学ぶ機会を提供することで、小野道風の顕彰を行うことができた。全国各地から応募があり、広く書のまちを発信することができた。	b 道風記念館
「書のまち春日井」の特色ある教育として全小中学校で書道科を実施	「書のまち春日井」の特色ある教育として全小中学校で書道科を実施	低学年は毛筆に親しむことができ、中・高学年は年間を通した計画的な書道教育を行うことができた。	b 教育委員会
書に関する講座 中央公民館2講座、受講者 31人 坂下公民館2講座、受講者 39人 東部公民館3講座、受講者 34人 南部ふれあいセンター1講座、受講者 18人 西部ふれあいセンター1講座、受講者 21人 ハーモニー春日井1講座、受講者 12人	書に関する講座 中央公民館2講座、受講者 32人 坂下公民館2講座、受講者 43人 東部公民館2講座、受講者 21人 南部ふれあいセンター1講座、受講者 21人 西部ふれあいセンター1講座、受講者 24人	地域に身近な施設で様々な実技講座を開講し、書に取り組むきっかけ作りや書への関心を深める機会を提供することができた。	b いきがい推進課 東部市民センター 多様性社会推進課 福祉政策課(社会福祉協議会/総合福祉センター) ほか

レディヤンかすがいⅠ 講座、受講者6人 総合福祉センターⅠ 講 座、受講者 14 人	高蔵寺ふれあいセンタ ー2講座、受講者 36 人 ハーモニー春日井Ⅰ 講座、受講者 10 人 レディヤンかすがい2 講座、受講者 28 人 総合福祉センターⅠ 講 座、受講者 13 人		
---	--	--	--

No.	取組み	主な内容
5	自分史の魅力を発信する取組みの推進	●日本自分史センターの運営 ●自分史を PR する事業の実施 ●文化財団 HP 等による広報

令和4年度の実績	令和5年度の実績	事業実施の成果	達成度 (自己評価)
自分史相談、週1日 自分史センターへの作 品寄贈 93 タイトル、蔵 書 8,451 タイトル、書籍 の貸出 69 冊	自分史相談、週1日 自分史センターへの作 品寄贈 62 タイトル、蔵 書 8,513 タイトル、書籍 の貸出 89 冊	無料相談を行い、自分史に 取り組む人を支援することが できた。また、自治体設置の 自分史専門図書館としては、 全国唯一の施設として、作品 収集を進めることができた。	b 文化財団
文化財団ホームページ に自分史についての特 集ページを公開	文化財団ホームページ に自分史についての特 集ページを公開	新たにロゴマークを作成。ホ ームページや広報物に使用 し、PR 効果を高めることがで きた。	b 文化財団



日本自分史センター
(文化フォーラム春日井・2階)



No.	取組み	主な内容
6	自分史に取り組み、作品を発表する機会の提供	●自分史活動グループへの活動支援 ●自分史作品公募事業の実施

令和4年度の実績	令和5年度の実績	事業実施の成果	達成度 (自己評価)
自分史活動グループ6団体を認定。施設の早期予約、使用料減免、印刷機の貸出	自分史活動グループ6団体を認定。施設の早期予約、使用料減免、印刷機の貸出	サークル主催の自分史講座を後援するなど、自分史に取り組む団体の活動を支援することができた。	b 文化スポーツ振興課
第20回掌編自分史全国公募。「はじめまして」をテーマに作品公募し、優秀作品35点を掲載した作品集を刊行。	21回目から新たに「あなたの“小さな”物語」と称して公募を実施。「わたしのよりみち かえりみち」をテーマに作品を公募し、優秀作品14点を掲載した作品集を刊行。	メールやGoogleフォームによる応募を積極的にPRするなど、より多くの方に気軽に応募してもらうよう工夫した結果、幅広い層からの応募があった。自分史に取り組む春日井市を幅広くPRすることができた。	b 文化財団

No.	取組み	主な内容
7	自分史事業と他の分野との連携	●自分史関連事業の実施

令和4年度の実績	令和5年度の実績	事業実施の成果	達成度 (自己評価)
演劇×自分史プロジェクト第4弾 参加者が16回のワークショップを経て、自分史を紡いだ創作演劇作品をリーディング公演と	演劇×自分史プロジェクト第5弾 参加者が23回のワークショップを経て、自分史を紡いだ創作演劇作品の舞台公演を開催。	若者と未来を見据えることを主眼に事業を実施。演劇公演「もういっかい!」では、中高生2チームと一般1チームが同じ台本を演じ、過去・現在・未来という三つの世界	b 文化財団

して開催。参加者 24 人、アシスタント1人	参加者 29 人、アシスタント2人	観を提示し、来場者の好評を得ることができた。	
—	劇場等文化施設を活用した孤独・孤立対策のための地域交流拠点の整備事業。伴走支援者：古橋敬一（クリエイティブ・リンク・ナゴヤ理事） ①あなただけの"とおき"のアルバムをつくろう、講師：浅田政志（写真家）、26 名参加 ②モヤモヤの正体 わたしと身体つながりを知る、講師：尹 雄大（もの書き、インタビュアー）24 名参加	令和5年に公布された「孤独・孤立対策推進法」を受け、課題解決の支援モデル構築を目的とした事業。（公社）全国公立文化施設協会からの委託を受けた2事業を実施し、参加者が互いに交流、自己開示し、深いコミュニケーションを図ることができた。	b 文化財団

No.	取組み	主な内容
8	新たに自分史に取り組む人を呼び込む取組みの検討	● 文章講座など初心者向けの講座の実施 ● トークイベントなど自分史に関する事業の実施

令和4年度の実績	令和5年度の実績	事業実施の成果	達成度 (自己評価)
エッセイ講座（全8回） 受講者 16 人	エッセイ講座（全8回） 受講者数 24 名 「わたしの言葉をみがく、作文講座」 ①小中学生2名 ②高校生～大人 13 名	エッセイ講座、作文講座を開催し、幅広い年齢層を対象に文章に取り組む機会を提供することができた。	b 文化財団

自分史講座 トークイベント トークイベントを3回開催し、オンラインでも配信。	自分史「トークイベント」 ① vol. 4「家族のこと話そう」を話そう ② vol. 5「市民と共に作る演劇」のこと、話そう	自分史について気軽に語る・考える場を持つため、トークイベントを開催し、これまで自分史に触れる機会がなかった層にも、機会を提供することができた。	b 文化財団
---	--	---	---------------

【成果指標と目標値】 ★はプラン改定により新たに指標とした項目

指標	実績値 (2021 年度)	実績値 (2023 年度)	目標値 (2026 年度)
「書のまち」に愛着や誇りを感じる市民の割合※ ¹ ★	66.7%	— %	70.0%
自分史の認知度※ ² ★	29.0%	— %	35.0%
道風展への応募作品数	5,904 点	5,894 点	6,700 点
自分史講座の受講者数	45 人	61 人	60 人

※ 1 「感じる」と回答した人の割合と「どちらかといえば感じる」と回答した人の割合の合計

※ 2 「よく知っている」と回答した人の割合と「聞いたことがあるが、詳しくは知らない」と回答した人の割合の合計

【施策ごとの評価】

施策 1 に対する評価		特記事項
A	計画以上の成果が得られた。	当市の文化の特徴である「書のまち春日井」、自分史について、新しく取り組もうとしている市民や、日頃文化に関心の薄い層などに向けて、工夫を凝らしながら各種事業を実施しており、いずれも評価できる。 引き続き、「書のまち」に愛着や誇りを感じる市民が増え、道風記念館の認知度が高まるような取組みが望まれる。自分史事業についても、幅広い市民の自分史の認知度を高めるような各種事業の実施が望まれる。
B	概ね計画どおりの成果が得られた	
C	成果が得られた事業が多かった	
D	成果が得られた事業は少なかった	
E	成果は得られなかった	

施策2 文化が育つ拠点施設の充実

No.	取組み	主な内容
9	施設の長寿命化を図り、安心して快適に利用できる文化施設の整備、管理	● 市民会館、文化フォーラム春日井など文化芸術に関する施設の整備及び管理

令和4年度の実績	令和5年度の実績	事業実施の成果	達成度 (自己評価)
文化フォーラム春日井：井水ろ過装置その他改修工事、監視カメラ改修工事ほか 市民会館：客席後部給気ダンパ取替修繕ほか	文化フォーラム春日井：自動制御リモートユニット改修工事、自動ドア開閉装置修繕ほか 市民会館：井戸改修工事ほか	経年劣化に対応するため、修繕・改修工事を実施し、施設利用者の安全性・快適性を高めることができた。	b 文化スポーツ振興課
道風記念館：空調設備機器修繕、監視カメラ修繕ほか	道風記念館：LED 照明器具更新工事、空調設備機器修繕ほか	経年劣化に対応するため、修繕等を実施し、施設利用者の安全性・快適性を高めることができた。	b 道風記念館
東部市民センター：エレベーター改修工事ほか	東部市民センター：歩道橋補修実施設計業務委託ほか	経年劣化に対応するため、補修工事の実施設計等を実施し、施設利用者の安全性・快適性を高めることができた。	b 東部市民センター

No.	取組み	主な内容
10	文化芸術の拠点となる市民会館、文化フォーラム春日井、東部市民センターの魅力ある運営＜新規＞	● 施設利用者向けアンケートの実施 ● 施設利用者の意見に基づく運営方法の改善

令和4年度の実績	令和5年度の実績	事業実施の成果	達成度 (自己評価)
顧客満足度調査(大変満足を+3、大変不満-3と数値化して平均値を算出) 文化フォーラム春日井・視聴覚ホール 2.41、ギャラリー 2.24、市民会館 2.37	顧客満足度調査は、2年分の利用者アンケートをまとめ、2年に1度実施している。令和5年度は実施しておらず、次回は令和6年度に実施予定。	令和4年度の調査結果に基づき、施設の適切な管理運営に務めた。	b 文化財団
文化フォーラムの運営方法等の改善 ①貸出備品に「液晶プロジェクター」「ポータブルPAシステム」を追加、②視聴覚ホール「座席図」設置、③「クリスマス・ワークショップ」を実施。再生可能エネルギーを使ったクリスマスツリーを展示 ④「防犯カメラシステム」更新。	文化フォーラム、市民会館の運営方法等の改善 ①市民会館に傘袋装着機を設置、②ファミリートイレにベビーチェアを設置、③地下1・2階エレベーターホールに貸出用車イスを常設、④ギャラリー用の貸出備品に作品運搬用の「パネル用台車」を追加ほか。	交流アトリウム LED ビジョンに施設利用サービスの改善点を掲載するなど、改善点を明示することで、利用者の理解を深めることができた。	b 文化財団
—	東部市民センターホール運営方法について検討を実施	ホールの運営方法について、より効率的・効果的な方法はないか検討を行い、将来の改善につなげる第一歩となった。	c 東部市民センター 文化財団 (文化スポーツ振興課)

No.	取組み	主な内容
11	市民会館の今後のあり方の検討＜新規＞	●将来の建替えに備え、市民のニーズに沿った市民会館のあり方の検討

令和4年度の実績	令和5年度の実績	事業実施の成果	達成度 (自己評価)
公共施設マネジメント計画の中で、第2期(2027～2036)での建替との方針を維持。	公共施設マネジメント計画の中で、第2期(2027～2036)での建替との方針を維持。	市全体の公共施設マネジメント計画に基づき、中長期的な視点で引き続き検討を行うこととした。	c 文化スポーツ振興課

No.	取組み	主な内容
12	文化芸術拠点施設での文化芸術の創造と地域への展開＜新規＞	●市民会館、文化フォーラム春日井など文化芸術の拠点施設での、春日井文化の創造 ●文化芸術の拠点施設で創造された文化を地域に広げる取組みの推進 ●春日井市をPRする文化芸術事業への支援

令和4年度の実績	令和5年度の実績	事業実施の成果	達成度 (自己評価)
演劇×自分史事業を主導する演出家に講師を依頼し、高校演劇部へのアウトリーチ事業実施。	演劇×自分史事業を主導する演出家に講師を依頼し、中学校・高校演劇部へのアウトリーチ事業を実施。	文化財団が取り組む創造事業を主導する演出家の指導を中高校生が直接受け、部活動の後押しをすることができた。	b 文化財団
文化スポーツイベント補助金(文化／周年・記念事業の開催)2件	文化スポーツイベント補助金(文化／周年・記念事業の開催)1件	主催者を支援することで、多くの市民に上質な文化芸術鑑賞の機会を提供することができた。	b 文化スポーツ振興課

【成果指標と目標値】 ★はプラン改定により新たに指標とした項目

指標	実績値 (2021年度)	実績値 (2023年度)	目標値 (2026年度)
市の文化施設が充実していると思う人の割合※1	30.3%	— %	35.0%

指標		実績値 (2021 年度)	実績値 (2022 年度)	目標値 (2026 年度)
文化施設の 利用率※2★	市民会館	68.5%	64.5%	70.0%
	文化フォーラム春日井	44.1%	47.1%	50.0%
	東部市民センター	30.5%	39.1%	40.0%

※ 1 春日井市が文化芸術活動の盛んなまちだと思う理由として文化施設が充実していると回答する人の割合

※ 2 施設の利用コマ数／施設の利用可能コマ数で算出（春日井市公共施設個別施設計画より）

（2023 年度の実績値が未集計のため、2022 年度の実績を掲載）

【施策ごとの評価】

施策 2 に対する評価		特記事項
A	計画以上の成果が得られた。	コロナ禍以降、各施設の利用者は減少していたが、それ以前の水準を取り戻しつつある。また、各施設の修繕や改修工事等も計画的にされており、いずれも評価できる。 文化フォーラムや市民会館では施設の魅力を活かすような取り組み、施設利用者の要望を取り入れた改善や運用ができているので、他の拠点施設でもそういった運営がされることが望まれる。
B	概ね計画どおりの成果が得られた	
C	成果が得られた事業が多かった	
D	成果が得られた事業は少なかった	
E	成果は得られなかった	

施策3 文化芸術を担う人材の育成

No.	取組み	主な内容
13	若手芸術家の育成、活動機会の提供	●若手音楽家の育成支援 ●若手美術家の育成支援

令和4年度の実績	令和5年度の実績	事業実施の成果	達成度 (自己評価)
若手音楽家支援事業として第1期2団体、第2期1団体、第3期3団体、第4期2団体の登録アーティストが活動。 アウトリーチ事業のほか、昼コン・夜コンに出演ワンコインコンサートを1回実施。	若手音楽家支援事業として第3期3団体、第4期2団体の登録アーティストが活動。また、次の第5期メンバーを公募。 アウトリーチ事業のほか、「親子のためのはじめての音楽会」出演1回、インリーチ・コンサート「おいでよアート・ドア」公演2回実施	アウトリーチ事業への派遣のほか、アウトリーチ研修会を2回開催するなど、若手音楽家を継続的、計画的に育成支援することができた。 また、先輩アーティストが後輩アーティストへアドバイスをするなど、グループの垣根を超えた交流が行われ、互いの成長につながった。	b 文化財団
若手美術家等の作品を取り上げる展覧会の開催なし	新進作家支援事業 山田雅哉「エチカ」来場者 2,430人	作品と作家の魅力を十分に伝える展覧会を開催することができ、新進作家支援事業としての目的を果たすことができた。	b 文化財団

No.	取組み	主な内容
14	子どもから高齢者まで幅広い世代の文化芸術活動の支援	●文化団体等への活動の支援 ●文化芸術に関する全国的なコンクール等の参加者に対する支援 ●文化財団と文化団体等が共催する事業の実施 ●文化財団の持つ専門技術や知識を、文化団体・教育機関等へ広める事業の実施

令和4年度の実績	令和5年度の実績	事業実施の成果	達成度 (自己評価)
文化協会、美術協会、市民音楽連盟、交響楽団、児童合唱団の活動を補助	文化協会、美術協会、市民音楽連盟、交響楽団、児童合唱団の活動を補助	各団体主催の鑑賞事業、広報活動等を支援し、多くの市民が文化芸術に触れる機会を提供することができた。	b 文化スポーツ振興課
国内での文化事業(全国大会等)への参加0団体、個人9人へ文化スポーツイベント補助金を交付	国内での文化事業(全国大会等)への参加0団体、個人11人へ文化スポーツイベント補助金を交付	全国大会や全国的なコンクール出場者へ補助金を交付することで、市民の文化活動を支援することができた。	b 文化スポーツ振興課
みんなの美術部 ①日本画家/芝康弘・鈴木佐和子 43人、②日本画家/鈴木淳子 47人、③造形作家/林幸秀 56人、④乾漆彫刻家/上山明子 48人、⑤カーデザイナー/木村徹 17人	みんなの美術部 ①日本画家/山田雅哉 45人、②日本画家/山田雅哉 47人、③和紙工芸作家/春日井範之 22人、④豆本作家/hokori20人、⑤造形作家/林幸秀、日本画家/山田雅哉、イラストレーター/安藤シオン 16人	令和元年度から始まったみんなの美術部は誰でも参加できる部活として、様々なジャンルの講師を迎え講座を開催。令和5年度も10代から70代の参加者があり、世代間交流を促進することもできた。	b 文化財団
かすがい人形劇フェスティバル主催:愛知県人形劇協会、かすがい人形劇フェスティバル実行委員会 第30回春日井市高等学校吹奏楽フェスティバル主催:春日井市高等学校吹奏楽協議会 とっておきのクリスマスコンサート主催:春日井児童合唱団	かすがい人形劇フェスティバル主催:愛知県人形劇協会、かすがい人形劇フェスティバル実行委員会 第31回春日井市高等学校吹奏楽フェスティバル主催:春日井市高等学校吹奏楽協議会 とっておきのクリスマスコンサート主催:春日井児童合唱団	文化財団の持つ専門技術や経験を活かし、各団体が実施する事業を共催という形で支え、文化活動団体の活動を支援することができた。	b 文化財団

高校吹奏楽版：会場/ 市民会館、参加者 16人、参加校：4校 高校演劇版：会場/視 聴覚ホール、参加者の べ28人、参加校：1校	高校吹奏楽版：会場/ 市民会館、参加者 26人、参加校：4校 高校演劇版3回：会場/ 視聴覚ホール・春日井 高校演劇部部室ほか、 参加者のべ37人、参 加校：1校	市内高校の演劇部と吹奏楽 部を対象に、照明・音響・舞 台技術・演出方法等の基礎 知識を伝えるセミナーを開 催し、高校生の文化活動を 支援することができた。	b 文化財団
---	--	--	---

No.	取組み	主な内容
15	社会教育施設等と連 携した文化芸術活動を 始めるきっかけづくり <新規>	●文化芸術に関する講座の実施 ●市民を講師とした文化芸術講座の実施

令和4年度の実績	令和5年度の実績	事業実施の成果	達成度 (自己評価)
文化芸術に関する講 座の開催(書を除く) 中央公民館 14 講 座、受講者 304 人 知多公民館 17 講 座、受講者 259 人 鷹来公民館 18 講 座、受講者 381 人 坂下公民館 9 講座、 受講者 144 人 東部公民館7講座、 受講者 73 人 味美ふれあいセンタ ー6 講座、受講者 42 人	文化芸術に関する講 座の開催(書を除く) 中央公民館 13 講 座、受講者 278 人 知多公民館 19 講 座、受講者 252 人 鷹来公民館 13 講 座、受講者 195 人 坂下公民館 8 講座、 受講者 134 人 東部公民館 13 講 座、受講者 239 人 味美ふれあいセンタ ー8 講座、受講者 198 人	地域に身近な施設で様々 な講座を開講し、文化芸 術に取り組むきっかけ作 りや文化芸術への関心を 深める機会を提供するこ とができた。	b いきがい推進課 東部市民センター 福祉政策課(社会福 祉協議会 /総合福祉センター) ほか

高蔵寺ふれあいセンター7 講座、受講者 125 人 西部ふれあいセンター4 講座、受講者 59 人 南部ふれあいセンター3 講座、受講者 43 人 ハーモニー春日井 7 講座、受講者 73 人 総合福祉センター6 講座、延べ受講者 333 人	高蔵寺ふれあいセンター7 講座、受講者 126 人 西部ふれあいセンター6 講座、受講者 78 人 南部ふれあいセンター2 講座、受講者 28 人 ハーモニー春日井 10 講座、受講者 134 人 総合福祉センター5 講座、延べ受講者 262 人		
講師発掘登用事業 27 件の応募のうち、15 件を企画として採用し、11 講座を実施	講師発掘登用事業 22 件の応募のうち、16 件を企画として採用し、12 講座を実施	講師となる市民を公募し、様々な講座を実施し、きっかけづくりの機会を提供することができた。	b いきがい推進課
文化協会主催8講座、市民音楽連盟主催2講座に対し補助金を交付	文化協会主催9講座、市民音楽連盟主催2講座に対し補助金を交付	初心者向けの講座を実施する文化活動団体へ補助金を交付し、市民の文化活動のきっかけ作りを支援することができた。	b 文化スポーツ振興課

No.	取組み	主な内容
16	若手芸術家などを指導者として地域に派遣する取組みの検討 ＜新規＞	●部活動や地域で活動している団体に、若手音楽家等を指導者として派遣する取組みの検討

令和4年度の実績	令和5年度の実績	事業実施の成果	達成度 (自己評価)
—	—	芸術家の部活動派遣について、具体的検討はなかった。	f —

【成果指標と目標値】 ★はプラン改定により新たに指標とした項目

指標	実績値 (2021 年度)	実績値 (2023 年度)	目標値 (2026 年度)
文化芸術の活動をしている人の割合	12.3%	—%	20.0%
文化芸術に関する講座数★	104 講座	114 講座	130 講座

【施策ごとの評価】

施策 3 に対する評価		特記事項
A	計画以上の成果が得られた。	小中学生や高校生から高齢者に対し文化芸術活動のきっかけ作りや活動の支援がされていることは評価できる。また、若手音楽家や美術家の育成支援が計画的に行われ、受け手となる市民の好評を得るなど効果を上げている点も評価できる。 ただし、文化芸術をしている人の割合を高めるためには、継続的な働きかけが必要なため、現在は文化芸術に関する講座等の実施が少ない施設で講座等を実施するなど、引き続きの事業展開が望まれる。
B	概ね計画どおりの成果が得られた	
C	成果が得られた事業が多かった	
D	成果が得られた事業は少なかった	
E	成果は得られなかった	

施策4 市民による文化芸術活動の推進

No.	取組み	主な内容
17	市民の文化芸術活動の発表の場の提供	●市民美術展覧会、短詩型文学祭、市民第九演奏会などの開催 ●公民館等での発表機会の提供 ●文化フォーラム春日井、市民会館、東部市民センターなど文化芸術の拠点施設での発表機会の提供

令和4年度の実績	令和5年度の実績	事業実施の成果	達成度 (自己評価)
第 71 回春日井市民美術展覧会、日本画・洋画・書・彫塑工芸・写真の5部門に 629 点出品、審査会員によるギャラリートーク(審査員解説)を実施	第 72 回春日井市民美術展覧会、日本画・洋画・書・彫塑工芸・写真の5部門に 655 点出品、審査会員によるギャラリートーク(審査員解説)を実施	PR 方法の工夫や、WEBでの出品申込を呼びかけなどの結果で出品数が前年を上回った。また、県高等学校文化連盟との協力関係もあり、初めて高校生の特別賞受賞があった。	b 文化スポーツ振興課 (文化財団)
第 42 回短詩型文学祭作品展、短歌・俳句・川柳・狂俳・詩の5部門に、一般の部(高校生以上)875 点、小・中学生の部 22,140 点、計 23,015 点応募	第 43 回短詩型文学祭作品展、短歌・俳句・川柳・狂俳・詩の5部門に、一般の部(高校生以上)1,055 点、小・中学生の部 20,874 点、計 21,879 点応募	PR 方法の工夫や、WEBでの応募を呼びかけるなどした結果、一般部応募数は過去最高となった。また、地域固有の文学・狂俳の解説動画を作成し、市民の理解を広めることができた。	b 文化スポーツ振興課 (文化財団)
2022 春日井市民第九演奏会、出演者 181 人(指揮者・ソリスト5人、交響楽団 66 人、合唱団 108 人、合唱指導者 2 人)、来場者 489 人。	第30回記念 2023 春日井市民第九演奏会、出演者 221 人(指揮者・ソリスト5人、交響楽団 72 人、合唱団 131 人、合唱指導者等 3 人、賛助出演 10 人)、来場者 832 人。	市制 80 周年を記念し、オープニングで「わがまち春日井」の演奏、前曲の喜歌劇「こうもり」では小学生のバレエ団の賛助出演もあり、出演者全員で第30回記念となる演奏会を盛り上げることができた。	b 文化スポーツ振興課 (中部大学内実行委員会事務局) (文化財団)

公民館まつり等を開催し、中央・知多合同発表会、延べ参加者 178 名 中央公民館、延べ参加者 144 人 知多公民館、延べ参加者 128 人 鷹来公民館、延べ参加者 113 人 坂下公民館、延べ参加者 210 人 どんぐり東部公民館まつり、延べ参加者 2,149 人 西部ふれあいセンター芸能祭 延べ参加者 263 人	公民館まつり等を開催 中央公民館、延べ参加者 274 人 知多公民館、延べ参加者 864 人 鷹来公民館、延べ参加者 291 人 坂下公民館、延べ参加者 375 人 どんぐり東部公民館まつり、延べ参加者 3,193 人 西部ふれあいセンター芸能祭 延べ参加者 525 人 南部ふれあいセンター芸能祭 延べ参加者 250 人	地域で活動する様々な団体に成果発表の機会を提供するとともに、各団体の交流を図ることができた。	b いきがい推進課 東部市民センター ほか
アトリウム音楽祭 <秋>16 団体、253 名出演、<春>16 団体 339 名出演	アトリウム音楽祭 <秋>15 団体、187 名出演、<春>16 団体 313 名出演	音楽やダンスなどに取り組む市民に発表の機会を提供することができた。	b 文化財団
第 21 回ハーモニーフェスティバル 10 団演出	第 22 回ハーモニーフェスティバル 11 団演出	施設で活動する団体に成果発表の機会を提供することができた。	b ハーモニーかすがい
第 31 回レディヤン祭 活動団体によるステージ発表 9 団体、活動団体による体験教室 13 団体ほか	第 32 回レディヤン祭 活動団体によるステージ発表 8 団体、活動団体による体験教室 12 団体ほか	レディヤンかすがいを活動拠点とする青少年団体、女性団体等に音楽やダンスなどの発表機会を提供することができた。	b 多様性社会推進課

No.	取組み	主な内容
18	市民の文化芸術活動の場の提供	●公共施設を文化芸術活動の場として利用する団体の認定と活動の支援

令和4年度の実績	令和5年度の実績	事業実施の成果	達成度 (自己評価)
生涯学習活動団体登録数 630 団体	生涯学習活動団体登録数 585 団体	定期的に活動する団体を認定し、月2回までの優先利用と施設使用料減免を行った。	b いきがい推進課 東部市民センター ほか

No.	取組み	主な内容
19	市民の文化芸術活動を支援する取組みの推進	●広報春日井や市 HP 等を活用した PR ●文化財団広報誌、文化財団 HP 等を活用した PR ●各種団体等が実施する文化芸術事業に対する後援

令和4年度の実績	令和5年度の実績	事業実施の成果	達成度 (自己評価)
広報春日井「市民の広場」への情報掲載 広報春日井のデータをホームページへ掲載	広報春日井「市民の広場」への情報掲載 広報春日井のデータをホームページへ掲載	文化団体等が実施するイベントや講座の情報を掲載し、市民の活動を支援することができた。	b 広報広聴課
文化財団広報誌 FORUM PRESS に春日井に関わる人にインタビューした「あのひと、春日井と」、聴き書き自分史“もの”語り、「わたしのアトリエ」を掲載	文化財団広報誌 FORUM PRESS に春日井に関わる人にインタビューした「あのひと、春日井と」、聴き書き自分史“もの”語り、「わたしのアトリエ」を掲載	開催予定の自主事業に関する情報だけではなく、地域にまつわる記事を掲載し、読んで興味がわくような情報発信を行うことができた。	b 文化財団
文化財団ホームページのイベントカレンダーに自主事業だけでなく貸	文化財団ホームページのイベントカレンダーに自主事業だけでなく貸	開催予定の自主事業に関する情報だけではなく、各種団体が開催するイベントの情	b 文化財団

館の情報も掲載。あわせて紙媒体でも作成し、市内施設で配布。	館の情報も掲載。あわせて紙媒体でも作成し、市内施設で配布。	報を掲載することで、各種団体の情報発信を支援することができた。	
春日井市後援（文化振興関係）79 件	春日井市後援（文化振興関係）83 件	各種団体が実施する文化事業について、市が後援することで、活動を支援することができた。	b 文化スポーツ振興課

【成果指標と目標値】 ★はプラン改定により新たに指標とした項目

指標	実績値 (2021 年度)	実績値 (2023 年度)	目標値 (2026 年度)
生涯学習活動団体の会員数	12,047 人	9,745 人	12,000 人
各種団体等が実施する文化芸術事業のうち、市の後援を受けた事業数★	68 件	83 件	95 件

【施策ごとの評価】

施策 4 に対する評価		特記事項
A	計画以上の成果が得られた。	市内では、市民会館など文化芸術の拠点施設だけではなく、公民館やふれあいセンターなどの身近な施設や、総合福祉センターなど他の目的で設置運営されている施設でも市民の様々な文化活動がされており、評価できる。 ただし、高齢化などの影響で定期的な文化芸術活動を行っている市民が減少しているため、文化芸術活動団体に対する新規加入者獲得を目的とした活動への支援や、広報のサポートなどが望まれる。
B	概ね計画どおりの成果が得られた	
C	成果が得られた事業が多かった	
D	成果が得られた事業は少なかった	
E	成果は得られなかった	

施策5 市民メセナ活動の推進

No.	取組み	主な内容
20	市民メセナ活動を広くPRする取組みの推進	●広報春日井や市 HP 等を活用した PR ●文化ボランティア活動等を活用した PR の推進 ●企業、団体等への PR の推進

令和4年度の実績	令和5年度の実績	事業実施の成果	達成度 (自己評価)
文化ボランティアの活動や市民メセナの仕組みについて、市ホームページへ情報を掲載	文化ボランティアの活動や市民メセナの仕組みについて、市ホームページへ情報を掲載	春日井市独自の取組みである市民メセナ活動について、幅広くPRすることができた。	b 文化スポーツ振興課
文化ボランティアが活動するコンサート等でチラシを配布	文化ボランティアが活動するコンサート等でチラシを配布	配布したチラシがきっかけで、新たな文化ボランティアへの活動要請につながることができた。	b 文化スポーツ振興課

No.	取組み	主な内容
21	文化ボランティア活動の推進と支援	●文化ボランティア活動機会の充実 ●文化ボランティア活動の PR の推進 ●文化ボランティア自主活動への支援

令和4年度の実績	令和5年度の実績	事業実施の成果	達成度 (自己評価)
文化ボランティアへの活動要請 6 回、延べ 45 人従事	文化ボランティアへの活動要請 11 回、延べ 78 人従事	市制 80 年記念で市民の文化活動が盛んとなり、例年以上の活動を行うことができた。	b 文化スポーツ振興課
広報へ登録者募集記事掲載、市内公共施設でのチラシ配布	広報へ登録者募集記事掲載、市内公共施設でのチラシ配布	様々な PR により新たな会員を迎え、多くの活動要請を得ることができた。	b 文化スポーツ振興課

文化ボランティア自主企画は感染症予防のため実施しなかった。	文化ボランティア自主企画「風待月コンサート」に100名来場	感染症の影響が落ち着き、3年ぶりに自主企画事業を実施することができた。	b 文化スポーツ振興課
-------------------------------	-------------------------------	-------------------------------------	----------------

No.	取組み	主な内容
22	市民メセナ基金を継続的に活用するための取組みの推進	●市民メセナ基金活用事業実施時における寄附の呼びかけの強化 ●市民メセナ基金積立に係るマッチングギフト制度の継続

令和4年度の実績	令和5年度の実績	事業実施の成果	達成度 (自己評価)
文化ボランティア活動時やかすがいどこでもアート・ドア開催時に寄附を呼びかけた。寄附11件、105,803円	文化ボランティア活動時やかすがいどこでもアート・ドア開催時に寄附を呼びかけた。寄附20件、164,955円	様々な機会に寄附を呼びかけ、前年度以上の寄附を集めることができた。	b 文化スポーツ振興課 (文化財団)
マッチングギフトとして105,803円を上乗せして基金積立	マッチングギフトとして164,955円を上乗せして基金積立	市民からの寄附を市が後押しすることができた。	b 文化スポーツ振興課



「市民メセナ活動」の仕組み

【成果指標と目標値】 ★はプラン改定により新たに指標とした項目

指標	実績値 (2021 年度)	実績値 (2023 年度)	目標値 (2026 年度)
文化ボランティア登録者数	22 人	27 人	25 人
市民メセナ基金への寄附件数★	8 件	20 件	15 件

【施策ごとの評価】

施策 5 に対する評価		特記事項
A	計画以上の成果が得られた。	文化ボランティアの会員数が増え、またボランティアへの活動要請が増加するなどしており、評価できる。また、基金への寄附件数、金額も増加している点も評価できる。 ただし、文化ボランティアの認知度は十分高いという水準には到達していないため、引き続きのPRが求められる。
B	概ね計画どおりの成果が得られた	
C	成果が得られた事業が多かった	
D	成果が得られた事業は少なかった	
E	成果は得られなかった	

施策6 鑑賞機会の充実

No.	取組み	主な内容
23	幅広い文化芸術を鑑賞する機会の充実	●文化芸術拠点施設における鑑賞機会の充実 ●地域の身近な施設での鑑賞事業の実施 ●子育て支援施設や植物園等での鑑賞機会の提供 ●公共施設を利用した各種団体による鑑賞機会の充実

[illegible]

部市民センター)、三遊亭兼好独演会、月夜のファウスト(以上視聴覚ホール)、普及啓発事業として「昼コン&夜コン」を12回、スペシャルワンコインコンサートを1回開催 美術系:木村セツ展 浅田政志写真展、生誕45周年記念ねずみくんのチョッキ展	Shinzi Katoh宮沢賢治幻燈館(以上東部市民センター)、君島大空ライブ(ギャラリー)、普及啓発事業として「昼コン&夜コン」を11回、スペシャルワンコインコンサートを1回開催 美術系:山田雅哉「エチカ」、のだめカンタービレ展、中日新聞報道写真展		
西部ふれあいセンター クリスマスコンサート ハーモニー春日井ウインターコンサート	西部ふれあいセンター 春のフレッシュコンクリート、セタコンサート、クリスマスコンサート 南部ふれあいセンター ふれあいコンサート ハーモニー春日井ウインターコンサート	地域に身近な施設でコンサートを開催し、地域の市民に鑑賞の機会を提供することができた。	b いきがい推進課
げんきっ子センターミニコンサート開催	げんきっ子センターミニコンサート開催	子育て支援施設でミュージックベルのミニコンサートを開催し、子ども達と保護者に鑑賞の機会を提供することができた。	b 子育て子育て総合支援館
緑と花のフェスティバル、秋の里山フェアなどのステージイベントで吹奏楽やゴスペル等の団体が出演	緑と花のフェスティバル、秋の里山フェアなどのステージイベントで吹奏楽やゴスペル等の団体が出演	季節の自然に触れ合うとともに、音楽を楽しんだり、茶道やクラフト、寄せ植え等を体験する機会を提供することができた。	b 野外教育センター
グリーンピア春日井コンサート(60回開催)	グリーンピア春日井コンサート(35回開催)	様々な団体に発表の機会を提供するとともに、多くの市民に鑑賞の機会を提供することができた。	b 野外教育センター

レディヤン祭において演奏者（サクソフォン+ピアノ）を招へいし、コンサート開催	レディヤン祭において演奏者（ユーフォニアム+ピアノ）を招へいし、コンサート開催	市内外で活動する音楽家によるミニコンサートを開催し、広く市民へ鑑賞の機会を提供することができた。	b 多様性社会推進課
市民会館の貸館利用のうち、コンサート等の件数 125 件	市民会館の貸館利用のうち、コンサート等の件数 107 件	様々な団体に発表の機会を提供するとともに、多くの市民に鑑賞の機会を提供することができた。	b 文化財団
文化フォーラム・視聴覚ホールの貸館利用のうち、コンサートや発表会等の件数 102 件 文化フォーラム・ギャラリーの貸館利用のうち、作品展等の件数 23 件	文化フォーラム・視聴覚ホールの貸館利用のうち、コンサートや発表会等の件数 95 件 文化フォーラム・ギャラリーの貸館利用のうち、作品展等の件数 28 件	様々な団体に発表の機会を提供するとともに、多くの市民に鑑賞の機会を提供することができた。	b 文化財団
東部市民センターホールの貸館利用のうち、コンサートや発表会等の件数 108 件	東部市民センターホールの貸館利用のうち、コンサートや発表会等の件数 118 件	様々な文化芸術団体に発表の場を提供するとともに、多くの市民に鑑賞の機会を提供することができた。	b 東部市民センター

No.	取組み	主な内容
24	アウトリーチ事業等による普及啓発の拡充	●かすがいどこでもアート・ドア事業の充実 ●スクールアート・ドア事業の充実

令和4年度の実績	令和5年度の実績	事業実施の成果	達成度 (自己評価)
かすがいどこでもアート・ドア（美術系）の実施はなかった	かすがいどこでもアート・ドア（美術系）2小学校、168 人	学校側の希望に沿って、授業をサポートし、児童にプロの指導を受ける機会を提供することができた。	b 文化財団
かすがいどこでもアート・ドア（実演芸術系）	かすがいどこでもアート・ドア（実演芸術系）	文化財団のミッションに基づく普及啓発事業の柱として	b 文化財団

派遣アーティスト 17 組 38 名、30 回実施、参加者 4,358 人	派遣アーティスト 15 組 36 名、41 回実施、参加者 5,070 人 うち、スクール・アート・ドアとして 12 件実施、参加者 1,529 人	実施し、普段劇場に足を運ぶ機会が少ない人々に芸術を間近で感じられる機会を提供することができた。 小学校での授業型アート・ドアでは、普段の授業では経験できない充実した体験を児童に与えることができた。	
—	インリーチコンサート「おいでよアート・ドア」を文化フォーラム・ギャラリーを会場に3回開催	小学校で実際に行っている楽器の解説などを含めたプログラムを文化フォーラムにて開催。事業の社会的意義を多くの方に理解いただき、アウトリーチ事業対象校以外の市民への機会提供を行うことができた。	b 文化財団

かすがい どこでも アート・ドア

いつもの日常の中に、特別な「アート」が 扉を開けてやってくる。
そして、新しい世界への「入り口」になる。

そんな思いをこめて、文化財団では、アウトリーチ事業「かすがい どこでも アート・ドア」を実施しています。音楽家・美術家・俳優など、様々なジャンルのアーティストが春日井市内の学校などを訪問し、公演やワークショップをとおして「特別なアートの時間」をお届けします。

普段、ホールに足を運ぶ機会の少ない方にとって、文化芸術を間近に体験していただく機会になることを目指しています。

※アウトリーチ：「外へ手を伸ばす」という意味。地域の中に出かけて行う普及活動のことを言います。



かすがい どこでも アート・ドア
Kasugai Dokodemo Art Door

No.	取組み	主な内容
25	オンラインを活用した鑑賞機会の提供とオンライン鑑賞を手助けする取組みの推進 ＜新規＞	●文化財団の自主文化事業でのオンライン鑑賞機会の提供 ●市公式動画配信チャンネル等を活用した動画の配信 ●公民館等でのオンライン鑑賞を手助けする講座等の開催

令和4年度の実績	令和5年度の実績	事業実施の成果	達成度 (自己評価)
自分史トークイベントをオンラインでも配信 ①vol.1 ひとり出版社が取り組む個人史へのアプローチ ②vol.2 “家元に生まれて” 西川千雅さんのファミリーヒストリー ③vol.3 “相手”からはじまる人生の物語	自分史事業でのオンライン配信は行わなかった。	令和5年度は感染症による制限も撤廃され、リアルなコミュニケーションへの揺り戻しの傾向があったため、オンライン配信は実施しなかった。 今後は、事業内容等にあわせ、オンラインの活用を検討する。	e 文化財団
ケーブルテレビで放送している市政だよりを市公式動画配信チャンネルで配信	ケーブルテレビで放送している市政だよりを市公式動画配信チャンネルで配信	動画配信チャンネルを活用することで、幅広い層に市政情報を発信することができた。	b 広報広聴課
公民館等でスマートフォンの使い方講座などを実施	公民館等でスマートフォンの使い方講座などを実施	スマートフォンなどの取扱いに慣れていない高齢者等に操作方法を習得する機会を提供することができた。	b いきがい推進課 ほか

【成果指標と目標値】 ★はプラン改定により新たに指標とした項目

指標	実績値 (2021 年度)	実績値 (2023 年度)	目標値 (2026 年度)
文化財団自主事業の満足度※★	97.2%	98.1%	98.5%
アウトリーチ事業の実施件数★	23 回	43 回	25 回

※各事業で実施する鑑賞者向けアンケートで測定

【施策ごとの評価】

施策 6 に対する評価		特記事項
A	計画以上の成果が得られた。	拠点となる文化施設では、市制 80 周年記念事業が行われるなど、質の高い魅力的な事業が実施されており、また、都市緑化植物園などでも文化芸術を鑑賞する機会が提供されており、評価できる。 アウトリーチ事業が拡充され、子ども達や普段拠点施設に足を運ぶことが難しい市民にも鑑賞の機会が提供されており、いずれも評価できる。加えて、市民会館などの施設が活用され、市民に様々な文化芸術を鑑賞する機会が提供されており評価できる。 感染症による制限が撤廃されたなか、令和 5 年度は社会的に“リアル”を求める揺り戻しがあった。次年度以降“オンライン鑑賞”をどのように取り扱うかは課題であるが、オンライン鑑賞を手助けするスマートフォンの使い方講座等の開催は引き続き求められる。
B	概ね計画どおりの成果が得られた	
C	成果が得られた事業が多かった	
D	成果が得られた事業は少なかった	
E	成果は得られなかった	

施策7 子どもの文化芸術活動の充実

No.	取組み	主な内容
26	子どもが文化芸術を鑑賞する機会の充実	● 子ども向け鑑賞事業の充実 ● 学校教育における芸術鑑賞機会の提供 ● 子育て支援施設等での鑑賞事業の実施 ● 公共施設を利用した各種団体による鑑賞機会提供の推進

令和4年度の実績	令和5年度の実績	事業実施の成果	達成度 (自己評価)
文化財団自主事業 舞台系：キーウ・クラシック・バレエ「白鳥の湖」、親子のためのはじめての音楽会（2日） 美術系：ねずみくんのチョッキ展	文化財団自主事業 舞台系：ミュージカル「カラフル」、ラulunベ・ダンス「エアー ～不思議な空の旅～」、親子のためのはじめての音楽会（3日）	親子向けの公演を実施することで芸術文化に対する関心を高める機会を提供することができた。 親子のためのはじめての音楽会では、0歳から参加可とし、乳児でも参加しやすい雰囲気づくりを行った。	b 文化財団
かすがいどこでもアート・ドア（実演芸術系） 派遣アーティスト17組 38名、30回実施、参加者4,358人	かすがいどこでもアート・ドア（実演芸術系） 派遣アーティスト15組 36名、41回実施、参加者5,070人 うち、スクール・アート・ドアとして12件実施、参加者1,529人	文化財団のミッションに基づく普及啓発事業の柱として実施。小学校での授業型アート・ドアでは、普段の授業では経験できない充実した体験を児童に与えることができた。また、幼稚園・保育園を重点的に訪問したアーティストが、乳幼児向けプログラム開発に取り組むことができ、次年度以降の事業展開につなげることができた。	b 文化財団
市内小学校での芸術鑑賞会の開催	市内小学校での芸術鑑賞会の開催	多くの学校で芸術鑑賞会を開催し、児童に鑑賞する機会を提供することができた。	b 教育委員会

市内中学校での文化祭、合唱コンクール等の開催	市内中学校での文化祭、合唱コンクール等の開催	多くの学校で文化祭や合唱コンクールを開催し、文化芸術に取り組む機会を提供することができた。	b 教育委員会
げんきっ子センターミニコンサート開催	げんきっ子センターミニコンサート開催	子育て支援施設でミュージックベルのミニコンサートを開催し、子ども達と保護者に鑑賞する機会を提供することができた。	b 子育て子育て 総合支援館
交通児童遊園建替工事のため、事業の実施なし	交通児童遊園クリスマス会等で人形劇やコンサートを開催	子ども達と保護者に鑑賞する機会を提供することができた。	b 交通児童遊園

No.	取組み	主な内容
27	子どもが文化芸術を体験できる機会の充実	●子ども向けや親子向け体験講座の実施 ●鑑賞事業に関連する体験機会の提供

令和4年度の実績	令和5年度の実績	事業実施の成果	達成度 (自己評価)
書を学び、書を楽しもう! 8メニュー、239人参加	文化フェスティバル 2023 AUTUMN 書を学び、書を楽しもう! 6メニュー、201人参加	美術協会の協力を得て、小中学生とその保護者に書や日本画、俳句・川柳を体験する機会を提供することができた。	b 文化スポーツ振興課
かすがい文化フェスティバル 2022 13講座、380人参加	文化フェスティバル 2023 SUMMER 13講座、367人参加	文化協会の協力を得て、多くの小学生に茶華道や日本舞踊などを体験する機会を提供することができた。	b 文化スポーツ振興課 (文化財団)
—	市制80周年記念事業 将棋フェスティバル こども将棋大会、プロと対局!多面差しぐるぐる	広報大使の室田伊緒氏らを講師に迎え、子どもから大人、初心者から愛好家までを対象に、様々なメニューを	b 文化スポーツ振興課 (文化財団)

	将棋、初心者講座ほかを実施、408 人参加	用意し、幅広い層に機会を提供することができた。	
企画展「おののとうふう～道風が生きた時代～」関連ワークショップ「秘密の特訓」、「はじめてのふで」、「道風くんにチャレンジ」計 368 人参加	企画展「おののとうふう～和様の書をつくった三跡～」関連ワークショップ「秘密の特訓」、「はじめてのふで」、「道風くんにチャレンジ」「名前を美しく書く」計 314 人参加	対象学年ごとにメニューを分け、小学生に書に取り組む機会を提供することができた。	b 道風記念館
交通児童遊園建替工事のため、事業の実施なし	交通児童遊園で子育て支援活動として、陶芸教室、和太鼓体験教室、将棋大会等を開催	小学生を対象に、文化を体験できる機会を提供することができた。	b 交通児童遊園

No.	取組み	主な内容
28	青少年の文化芸術鑑賞に対する支援	● 青少年鑑賞サポートプログラム「学生の特券」の充実

令和4年度の実績	令和5年度の実績	事業実施の成果	達成度 (自己評価)
小中高生が舞台系事業を“ワンコイン”500 円(舞台系事業は一部1,000 円、美術系事業は一部無料)で鑑賞できるプログラム「学生の特券」を設定。舞台系12 事業、646 人、美術系3事業、1588 人。	小中高生が舞台系事業を“ワンコイン”500 円(舞台系事業は一部1,000 円、美術系事業は一部無料)で鑑賞できるプログラム「学生の特券」を設定。舞台系14 事業、690 人。	多くの小中高校生に、安価に文化芸術を鑑賞する機会を提供し、多くの青少年が文化芸術を鑑賞する機会を提供することができた。	b 文化財団

学生の特券

～ この体験で、あなたは素敵な“おとな”になる ～

文化財団は、小中高校生がワンコインで文化芸術に親しむことができるサポート制度「学生の特券」として、音楽、演劇、映画、美術、伝統芸能など幅広いジャンルの公演や展覧会を厳選し、青少年が文化芸術に接する機会を継続的に提供しています。



【成果指標と目標値】 ★はプラン改定により新たに指標とした項目

指標	実績値 (2021 年度)	実績値 (2023 年度)	目標値 (2026 年度)
若手芸術家等の学校派遣による特別授業の受講児童・生徒数	2,578 人	3,212 人	2,000 人
「学生の特券」の利用者数★ ※	134 人	690 人	650 人

※実演芸術に限らず映画等も含む

【施策ごとの評価】

施策 7 に対する評価		特記事項
A	計画以上の成果が得られた。	小中高校生など若い世代に対し、鑑賞機会の提供や、鑑賞を促すような取組みがされており、評価できる。 また、文化芸術の拠点施設において、体験機会の提供がされており、評価できる。 子ども達への働きかけは、将来文化芸術に取り組む人材の育成につながるものとして、引き続き積極的な取組みが望まれる。
B	概ね計画どおりの成果が得られた	
C	成果が得られた事業が多かった	
D	成果が得られた事業は少なかった	
E	成果は得られなかった	

施策8 高齢者や障がいのある人の文化芸術活動の推進

No.	取組み	主な内容
29	高齢者や障がいのある人の鑑賞機会の充実	● 高齢者や障がいのある人が鑑賞しやすい機会の提供 ● 高齢者や障がいのある人の文化芸術鑑賞への支援 ● 福祉施設、福祉団体等での鑑賞事業の実施

令和4年度の実績	令和5年度の実績	事業実施の成果	達成度 (自己評価)
60歳以上を対象とした連続講座「熟年大学」で、芸術文化・文学・歴史など5コースを設置	60歳以上を対象とした連続講座「熟年大学」で、芸術文化・文学・歴史など5コースを設置	毎回様々なテーマで講座を実施し、多くの高齢者に文化芸術への関心を広げ、理解を深めることができた。	b いきがい推進課
日曜シネマ(5回×2会場、全10回)にてボランティア団体の協力を得て聴覚障がい者のためのシーンボイスガイドを実施	日曜シネマ(5回×2会場、全10回)にてボランティア団体の協力を得て聴覚障がい者のためのシーンボイスガイドを実施。1回のみであったが、上映前のミニトーク等に手話通訳を付けた。	ボランティアの協力を得て、目の不自由な人も映画を鑑賞できる機会を提供することができた。	b 文化財団
福祉の里レインボープラザで鑑賞事業のクリスマスコンサート、演芸フェスタを実施	福祉の里レインボープラザで鑑賞事業のクリスマスコンサート、演芸フェスタを実施	高齢者等を対象に鑑賞する機会を提供することができた。	b 福祉政策課 (社会福祉協議会/福祉の里)

No.	取組み	主な内容
30	高齢者や障がいのある人の発表機会の提供<新規>	● 高齢者や障がいのある人に対する作品発表機会の提供 ● 障がいがある児童・生徒の作品発表機会の提供

令和4年度の実績	令和5年度の実績	事業実施の成果	達成度 (自己評価)
障がい者週間啓発イベントとして、障がい者団体等作品展、春日井高等特別支援学校生徒によるクリスマス・ハンドベル・コンサート開催	障がい者週間啓発イベントとして、障がい者団体等作品展、春日井高等特別支援学校生徒によるクリスマス・ハンドベル・コンサート開催	市役所市民ホールで、作品展とコンサートを開催し、障がい者団体や特別支援学校の生徒に発表の機会を提供することができた。	b 障がい福祉課
総合福祉センターまつりを開催し、参加団体の作品発表及び芸能発表を実施。	総合福祉センターまつりを開催し、参加団体の作品発表及び芸能発表を実施。	団体の成果発表の機会を提供するとともに、各団体の交流を図ることができた。	b 福祉政策課 (社会福祉協議会/総合福祉センター)
福祉の里レインボープラザでハッピーコンサート(6回)、歌声アトリウムを実施	福祉の里レインボープラザでハッピーコンサート(6回)、世代間交流ピアノリレー、歌声アトリウムを実施	高齢者等を対象に発表する機会を提供するとともに、相互の交流を図ることができた。	b 福祉政策課 (社会福祉協議会/福祉の里)
けやきの子作品展を開催し、市内特別支援学級の児童生徒や、近隣の特別支援学校の生徒の作品を展示	けやきの子作品展を開催し、市内特別支援学級の児童生徒や、近隣の特別支援学校の生徒の作品を展示	個人だけでなく、学級・学校単位の共同作品もあり、会場の文化フォーラム・交流アトリウムには、多くの来場者があった。	b 教育委員会

【成果指標と目標値】 ★はプラン改定により新たに指標とした項目

指標	実績値 (2021年度)	実績値 (2023年度)	目標値 (2026年度)
障がい者等への鑑賞機会の提供回数★	5回	10回	6回
障がい者等への発表機会の提供回数★	4回	4回	5回

【施策ごとの評価】

施策 8 に対する評価		特記事項
A	計画以上の成果が得られた。	高齢者や障がい者など社会的に弱い立場にある市民に対し、芸術を鑑賞できる機会や作品や演奏などを発表する機会が設けられておりいずれも評価できる。 特に、小中高生に対し、発表の機会が設けられていることは、大変意義があるものとする。
B	概ね計画どおりの成果が得られた	
C	成果が得られた事業が多かった	
D	成果が得られた事業は少なかった	
E	成果は得られなかった	

施策9 受け手に合わせた情報発信の拡充

No.	取組み	主な内容
31	受け手に合わせた多様な情報発信の充実	●広報春日井や文化財団広報誌等を活用した情報発信 ●市 HP、文化財団 HP、公式 SNS 等を活用した情報発信 ●企業等の情報発信媒体を活用した情報発信

令和4年度の実績	令和5年度の実績	事業実施の成果	達成度 (自己評価)
広報春日井に「市民の広場」のコーナーを設け地域情報を掲載	広報春日井に「市民の広場」のコーナーを設け地域情報を掲載	文化振興を目的に活動している団体などの情報を発信することができた。	b 広報広聴課
文化財団広報誌 FORUM PRESS に「春日井に関わる人にインタビューした「あの人と、春日井と」、市民活動紹介「みんなの広場」「わたしのアトリエ」のコーナーを設け、地域にまつわる情報を掲載	文化財団広報誌 FORUM PRESS に「春日井に関わる人にインタビューした「あの人と、春日井と」、市民活動紹介「みんなの広場」「わたしのアトリエ」のコーナーを設け、地域にまつわる情報を掲載	開催予定の事業に関する情報だけではなく、記事を読んで興味がわくような情報発信を行うことができた。 読者アンケートでも大変好評で、春日井市の魅力を PR することができた。	b 文化財団
市民に必要な情報を迅速に提供するため、市ホームページや SNS を活用。 LINE お友達登録件数 15,653 件、Twitter フォロワー4,141 件	市民に必要な情報を迅速に提供するため、市ホームページや SNS を活用。 LINE お友達登録件数 21,553 件、X フォロワー4,500 件	ホームページをリニューアルし、操作性の向上やスマートフォンでの閲覧性の向上を図った。また、LINE もリニューアルし、利便性の向上を図った。	b 広報広聴課
文化財団公式 LINE お友達登録件数 1,132 件、Twitter フォロワー数 1,429 件	文化財団公式 LINE お友達登録件数 1,386 件、X フォロワー数 1,559 件	公式 LINE お友達登録者、X フォロワーとも増加するなど、多くの市民に情報発信することができた。	b 文化財団

子育て世帯向けの講座などの情報を地域密着情報誌への掲載	子育て世帯向けの講座などの情報を地域密着情報誌への掲載	広報春日井を入手していない世帯などをメインターゲットに情報発信することができた。	b 広報広聴課 いきがい推進課
-----------------------------	-----------------------------	--	---------------------------

No.	取組み	主な内容
32	社会教育施設等での文化芸術活動の情報の発信＜新規＞	●紙媒体や、市HP（生涯学習情報発信サイト）、デジタルサイネージ等を活用した情報発信の充実

令和4年度の実績	令和5年度の実績	事業実施の成果	達成度 (自己評価)
生涯学習情報サイト「まなびや選科」に、講師登録者や生涯学習活動団体の情報を掲載	生涯学習情報サイト「まなびや選科」に、講師登録者や生涯学習活動団体の情報を掲載	公民館やふれあいセンター等で活動する生涯学習活動団体及び、講師として活動する市民の情報発信を行うことができた。	b いきがい推進課
市や教育委員会が後援する事業の広報物の配布を各公民館等で実施	市や教育委員会が後援する事業の広報物の配布を各公民館等で実施	様々な団体が実施する文化芸術活動等の広報について、公共施設がサポートすることができた。	b いきがい推進課 ほか

No.	取組み	主な内容
33	近隣自治体や民間文化施設、民間生活情報誌等と連携した情報の発信	●近隣自治体の文化芸術施設や図書館、社会教育施設等と連携した情報の発信 ●地域情報誌などと連携した情報発信の充実

令和4年度の実績	令和5年度の実績	事業実施の成果	達成度 (自己評価)
文化財団広報誌「FORUM PRESS」を始めとする広報物を県内 331 施設、県外 50 施設に配布。近隣ホールで開催の類似ジャンルの公演にて、自主文化事業の広報物を折り込みを相互に依頼。	文化財団広報誌「FORUM PRESS」を始めとする広報物を県内 349 施設、県外 129 施設に配布。近隣ホールで開催の類似ジャンルの公演にて、自主文化事業の広報物を折り込みを相互に依頼。	近隣の文化施設と連携することで、幅広い情報を、来館者・友の会会員・公演の鑑賞者に提供することができた。	b 文化財団
自主事業等の情報を地域密着情報誌への掲載	自主事業等の情報を地域密着情報誌への掲載 新進作家支援事業 山田雅哉「エチカ」は表紙・巻頭特集で取り上げられた。	多くの写真が掲載される特集記事は PR 効果が高く、広報春日井を入手していない世帯などをメインターゲットに効果的な情報発信することができた。	b 文化財団

No.	取組み	主な内容
34	文化芸術に関する情報に接する機会が少ない市民への情報提供手段の検討＜新規＞	●新たな情報発信ツールの検討 ●情報発信媒体の調査、活用

令和4年度の実績	令和5年度の実績	事業実施の成果	達成度 (自己評価)
文化フォーラム1階のLED ビジョンで短詩型文学の PR 動画を流すなど、各種情報を発信	文化フォーラム1階のLED ビジョンで地域固有の文学・狂俳の解説動画を流すなど、各種情報を発信	図書館利用者などを含め多くの施設利用者にPRすることができた。	b 文化財団

—	市民美術展覧会で、新たにInstagramを活用	SNS を活用し、鑑賞者が出品者に感想を伝える機会を提供することができた。	b 文化スポーツ 振興課 (文化財団)
---	--------------------------	---------------------------------------	------------------------------

【成果指標と目標値】 ★はプラン改定により新たに指標とした項目

指標	実績値 (2021 年度)	実績値 (2023 年度)	目標値 (2026 年度)
文化芸術に関する情報についての充足度 ※★	64.7%	— %	67.5%

※「十分入手できている」と回答した人の割合と「十分ではないが不自由ではない」と回答した人の割合の合計

【施策ごとの評価】

施策 9 に対する評価		特記事項
A	計画以上の成果が得られた。	受け手に合わせた情報発信は、非常に難しい課題であるが、紙媒体やデジタル技術を活用した様々な情報発信がされており評価できる。 ただし、紙媒体での情報発信は経費などの問題もあり次第に難しくなっていくと考えられること、また新たな情報発信ツールが開発されると考えられることから、今後こういった方法が効果的なのか、引き続きの情報収集や検討が望まれる。
B	概ね計画どおりの成果が得られた	
C	成果が得られた事業が多かった	
D	成果が得られた事業は少なかった	
E	成果は得られなかった	

地域の資産を活用した地域力の向上

施策 10 文化財・民俗芸能の保存・継承

No.	取組み	主な内容
35	文化財に関する調査の継続と調査結果の活用	●文化財に関する調査の継続 ●文化財に関する調査結果を踏まえた効果的な展示、説明会、講座等の実施 ●文化財に関する啓発イベント等の開催

令和4年度の実績	令和5年度の実績	事業実施の成果	達成度 (自己評価)
熊野西田面遺跡・柏井遺跡ほか発掘調査 土地区画整理事業地内試掘調査 市内遺跡調査概要報告書刊行 収蔵民俗資料の再整理	桜佐上五反田遺跡・桜佐下五反田遺跡ほか発掘調査 土地区画整理事業地内試掘調査 市内遺跡調査概要報告書刊行 収蔵民俗資料の再整理	発掘調査や民俗・考古資料の整理を実施し、報告書等を刊行することで文化財の記録・保存を進めることができた。	b 文化財課
中央公民館内の民俗考古展示室において、「夏の年中行事」など企画展示を5回開催。 古代史講座(全3回)、親子体験教室を7回開催。来場者 3,802 人。 大垣戸狐塚古墳出土遺物を再整理しパンフ	中央公民館内の民俗考古展示室において、「職人の手仕事」など企画展示を5回開催。 古代史講座(全3回)、親子体験教室を7回開催。来場者 4,001 人。	企画展示に合わせた親子体験教室や講座を開催することで展示に対する理解を深めることができた。	b 文化財課

レットを作成。企画展示と、特別講座を実施。	市内窯業遺跡出土遺物を再整理し、企画展示と、特別講座を実施。		
内津文化財祭（会場：内々神社、参加者 500 人）、ハニワまつり（会場：ニ子山公園、参加者 3,500 人）を開催	内津文化財祭（会場：内々神社、参加者 200 人）、ハニワまつり（会場：ニ子山公園、参加者 4,500 人）を開催	啓発イベントを再開し、地元住民を始めとする多くの市民に文化財の重要性と文化財保護の必要性を広く PR することができた。	b 文化財課

No.	取組み	主な内容
36	文化財や民俗芸能等を保存・継承する取組みへの支援	●文化財を保存・継承する団体等への支援 ●郷土芸能保存団体等への活動の支援

令和4年度の実績	令和5年度の実績	事業実施の成果	達成度 (自己評価)
指定文化財所有者等に対する各種補助金の交付として、密蔵院建造物6棟防災設備整備補助始め 12 件交付	指定文化財所有者等に対する各種補助金の交付として、密蔵院宝蔵の屋根修繕始め 14 件交付	有効に補助金が交付され、文化財関連施設等の保守・管理を適切に実施することができた。	b 文化財課
文化財防火デーに合わせ、密蔵院にて防火訓練を行い、市内各所に保存・保管されている指定文化財の防火巡視を実施	文化財防火デーに合わせ、密蔵院にて防火訓練を行い、市内各所に保存・保管されている指定文化財の防火巡視を実施	指定文化財所有者等と連携し、文化財の適切な保存及び保管状況を確認することができた。	b 文化財課
郷土芸能の保存団体の活動を支援する補助金を延べ 26 団体へ交付 保存伝承事業 23 件、 用具修理・購入補助 3 件	郷土芸能の保存団体の活動を支援する補助金を延べ 32 団体へ交付 保存伝承事業 28 件、 用具修理・購入補助 4 件	郷土芸能保存伝承のための活動や用具の修理・購入に補助を行うなど保存団体の活動を支援することができた。	b 文化財課

郷土芸能出前講座に、神領小学校と大留下棒の手保存会が参加	郷土芸能出前講座に、玉川小学校、神領小学校と玉野郷土芸能保存会、大留下棒の手保存会が参加	郷土芸能出前講座の実施をきっかけに児童が地域の郷土芸能を知ることができた。また、保存団体との協力体制を強化することができた。	b 文化財課
文化財保護を啓発する文化財ボランティアを育成。ステップアップ研修4回開催。養成講座を5人が受講し、うち4人が文化財ボランティアの会に加入	文化財保護を啓発する文化財ボランティアを育成。ステップアップ研修4回開催。	文化財ボランティアの会員数は31人とやや減少したが、協働事業として、「勾玉をつくろう」などを実施することができた。	b 文化財課

【成果指標と目標値】 ★はプラン改定により新たに指標とした項目

指標	実績値 (2021年度)	実績値 (2023年度)	目標値 (2026年度)
文化財に関する講座や啓発イベント等の参加者数★	359人	5,236人	5,000人
民俗考古展示室の観覧者数	4,217人	4,001人	6,500人

【施策ごとの評価】

施策 10 に対する評価		特記事項
A	計画以上の成果が得られた。	地域の貴重な資産である文化財や民俗芸能を保存・継承していくことは重要であるが、高齢化の進展や後継者問題などもあり、行政の支援や取組みは重要となってくる。そうした中で、様々な取組みがされており、評価できる。 今後も、地域の貴重な資産である文化財や民俗芸能を後世へ継承していくため、継続的な支援や取組みが望まれる。
B	概ね計画どおりの成果が得られた	
C	成果が得られた事業が多かった	
D	成果が得られた事業は少なかった	
E	成果は得られなかった	

施策 11 文化による地域の活性化

No.	取組み	主な内容
37	地域に残る文化財・民俗芸能を活用する取組みの推進	●文化財や民俗芸能等のデジタルアーカイブ化の推進 ●春日井まつりなどでの地域に残る民俗芸能等の発表機会の提供

令和4年度の実績	令和5年度の実績	事業実施の成果	達成度 (自己評価)
「春日井文化財ガイド」改訂、「築水池のシデコブシ自生地」始め3件のVR追加公開	伊多波刀神社（市指定無形民俗文化財「伊多波刀神社奉納流鏑馬」が奉納される神社）のVR見学ツアーを公開	市の文化財について認知度を高めるため、VR 見学ツアーコンテンツの拡充を図ることができ、広く文化財の情報発信を行うことができた。	b 文化財課
—	市制 80 周年記念事業 愛知県民俗芸能大会 春日井市大会開催（共催：愛知県）	民俗芸能の普及・啓発を図るとともに、市内の郷土芸能団体に発表の場を提供することができた。	b 文化財課
春日井まつりパレードに「道風平安朝行列」、「棒の手」（出川町・小木田・大留下棒の手保存会）、「神楽・流鏑馬装束」（伊多波刀神社道行神楽・伊多波刀神社奉納流鏑馬保存会）、神楽（六軒屋郷土芸能保存会）が参加 ステージに神楽（松本・大留下・伊多波刀神社道行・坂下町・気噴南神楽保存会、六軒屋郷土芸能保存会）が出演	春日井まつりパレードに「道風平安朝行列」、「棒の手」（神屋町・出川町・小木田・大留下棒の手保存会）、「神楽・流鏑馬装束」（伊多波刀神社道行神楽・伊多波刀神社奉納流鏑馬保存会）、神楽（六軒屋郷土芸能保存会）が参加 ステージに神楽（松本・大留下・伊多波刀神社道行・坂下町・気噴南神楽保存会、六軒屋郷土芸能保存会）が出演	指定文化財を多くの市民に披露することで、普段民俗文化財を目にする機会が少ない市民にも情報発信することができた。 また、指定文化財や郷土の芸能の発表に、小中学生等が参加し、次世代への継承を図ることができた。	b 市民生活課

中央公園で「棒の手」 (小木田、出川町、大留 下保存会、玉野郷土芸 能保存会)が演舞披露 中央公園に「流鏑馬体 験コーナー」(伊多波刀 神社奉納流鏑馬保存 会)設置	中央公園で「棒の手」 (小木田、出川町、大留 下保存会、玉野郷土芸 能保存会)が演舞披露 中央公園に「流鏑馬体 験コーナー」(伊多波刀 神社奉納流鏑馬保存 会)設置		
---	---	--	--

No.	取組み	主な内容
38	文化芸術を媒介とした 地域が活性化するような 取組みの推進及び支援	● 地域団体等へ講師や芸術家等を派遣するなど、地域の交流を促進する機会の提供 ● 地域の祭りなど、文化を媒介として交流を図る活動に対する支援

令和4年度の実績	令和5年度の実績	事業実施の成果	達成度 (自己評価)
生涯学習出前講座として、職員や登録講師を町内会や地区社会福祉協議会等へ26件派遣(うち、文化に関するもの3件)	生涯学習出前講座として、職員や登録講師を町内会や地区社会福祉協議会等へ45件派遣(うち、文化に関するもの4件)	地域の団体へ講師を派遣し、身近な施設で学ぶ機会を提供することができた。 (文化に関するもの以外に、健康、生活情報等のメニューもあり)	b いきがい推進課
かすがいどこでもアート・ドア(実演芸術系)派遣アーティスト17組38名、30回実施、参加者4,358人	かすがいどこでもアート・ドア(実演芸術系)派遣アーティスト15組36名、41回実施、参加者5,070名	文化財団のミッションに基づく普及啓発事業の柱として実施し、普段劇場に足を運ぶ機会が少ない人々に芸術を間近で感じられる機会を提供することができた。	b 文化財団
コミュニティ推進事業として、住民相互の連携と地域社会の発展に寄与する事業に補助金を交付	コミュニティ推進事業として、住民相互の連携と地域社会の発展に寄与する事業に補助金を交付	町内会の区域をまたぐ概ね小学校区の区域でのイベント開催を支えることができた。	b 市民生活課

【成果指標と目標値】 ★はプラン改定により新たに指標とした項目

指標	実績値 (2021 年度)	実績値 (2023 年度)	目標値 (2026 年度)
地域団体等へ講師や芸術家等の派遣回数★	20 回	55 回	30 回

【施策ごとの評価】

施策 11 に対する評価		特記事項
A	計画以上の成果が得られた。	地域のつながりが希薄になっている今日において、様々な取組みによって、地域のつながりが醸成され、更に地域の活性化につながることは非常に喜ばしいものである。 ひとつひとつの取組みが、積み重ねられることで施策は推進されるものと考えられるため、今後も現在の取組みが継続されることが望まれる。
B	概ね計画どおりの成果が得られた	
C	成果が得られた事業が多かった	
D	成果が得られた事業は少なかった	
E	成果は得られなかった	

施策 12 様々な分野との連携

No.	取組み	主な内容
39	文化芸術に係る教育機関や企業及び民間団体等と連携した取組みの推進	●文化財団と教育委員会、教育機関等が連携した文化芸術に関する取組みの推進 ●文化芸術の鑑賞機会提供に対する企業等の支援を生かす取組みの推進 ●官・民・学が協働して実施する事業の推進

令和4年度の実績	令和5年度の実績	事業実施の成果	達成度 (自己評価)
第30回春日井市高等学校吹奏楽フェスティバル(主催:春日井市高等学校吹奏楽協議会、共催:かすがい市民文化財団)	第31回春日井市高等学校吹奏楽フェスティバル(主催:春日井市高等学校吹奏楽協議会、共催:かすがい市民文化財団)	市内の高校の吹奏楽部が一堂に会し、学校の垣根を超えてステージを築き上げることができた。	b 文化財団
2022 春日井市民第九演奏会、出演者181人(指揮者・ソリスト5人、交響楽団66人、合唱団108人、合唱指導者2人)、来場者489人。	第30回記念2023 春日井市民第九演奏会、出演者221人(指揮者・ソリスト5人、交響楽団72人、合唱団131人、合唱指導者等3人、賛助出演10人)、来場者832人。	実行委員会事務局(中部大学)、市及び文化財団、市民(合唱団・交響楽団)の三者で協議・調整し、演奏会を開催することができた。	b 文化スポーツ振興課 (中部大学内実行委員会事務局) (文化財団)

No.	取組み	主な内容
40	観光、まちづくり、国際交流、福祉、教育、産業、スポーツ等の分野と連携した取組みの推進<新規>	●文化芸術と観光、まちづくり、国際交流、産業、スポーツ等の分野が連携した取組みの推進 ●福祉分野における文化芸術の効用を生かした事業の展開 ●市や教育委員会、文化財団と各種団体や企業等が連携した取組みの推進

令和4年度の実績	令和5年度の実績	事業実施の成果	達成度 (自己評価)
市内商業施設で書道体験イベントを5回実施、うち2回は、書道パフォーマンスもあわせて実施	市内商業施設で書道体験イベントを5回実施、うち1回は、書道パフォーマンスもあわせて実施	市内高校・大学書道部等の協力を得て、商業施設と協働して事業を実施した。市内外の幅広い層に書道を体験してもらい、書のまちをPRすることができた。	b 文化スポーツ振興課
—	のだめカンタービレ展 ホテルでのコラボメニューの提供 コラボレーションラベル の地ビール販売 商店街でのPRの実施	文化フォーラムでの催事において、商店街や事業者の協力を得て、事業を盛り上げることができた。	b 文化財団

【成果指標と目標値】 ★はプラン改定により新たに指標とした項目

指標	実績値 (2021 年度)	実績値 (2023 年度)	目標値 (2026 年度)
大学や企業、各種団体等と市、文化財団との連携による事業の参加者数	1,636 人	1,815 人	1,700 人
観光、まちづくり、国際交流、福祉、教育、産業、スポーツ等の分野と連携して実施した事業数※★	5 回	8 回	8 回

【施策ごとの評価】

施策 12 に対する評価		特記事項
A	計画以上の成果が得られた。	文化芸術に係る教育機関等との連携では、市民第九演奏会などの事業が実施された点は評価できる。また、商業施設や商店街、事業者との連携がされたことは評価できる。 引き続き、他分野と協力・協働し、文化芸術が生み出す効果を活かしていく取り組みがより一層望まれる。
B	概ね計画どおりの成果が得られた	
C	成果が得られた事業が多かった	
D	成果が得られた事業は少なかった	
E	成果は得られなかった	



第2次かすがい市民文化振興プランが改定され、1年目の評価となる。

令和5年度は感染症による制限が撤廃されたことや、市制80周年を記念する年であったため、様々な事業が実施され、また市民の文化活動の復活への動きが見られた。

市や文化財団などでは、プラン改定で示した新たな基本目標、施策を目指して事業計画が策定されており、全体として計画どおりに事業を実施することができ、想定程度の成果を上げることができたと評価している。

個別の施策や取組みに触れると、施策6の25「オンラインを活用した鑑賞機会の提供とオンライン鑑賞を手助けする取組みの推進」について、令和5年度は、感染症の制限が撤廃され、リアルなコミュニケーションへの揺り戻しが人々の生活で認められる状況であった。そうしたなか、実演に直接触れる場が多く設けられ、オンライン鑑賞への動きがなかったことは、仕方がないことと考える。ただし、高齢者などスマートフォンやパソコンなどインターネットを活用する技術や機会が乏しい市民を対象に、様々な講座等が実施されていることは意義のあるものとする。今後は、実演とオンラインが併用、あるいは使い分けされるなど、実施する内容や性質によって判断され、機会が提供されることが望まれる。

施策9「受け手に合わせた情報発信の拡充」については、対象者の事情によって求めることが異なり対応が難しい分野であるが、新たな技術や手法が次々に生まれてくることが想定されるため、情報収集や継続的な検討が求められる。引き続き強化を求めたい。

その他、施策11「文化による地域の活性化」、施策12「様々な分野との連携」では、こういった手法がとれるのか、こういった事業展開が可能なのかなど、人々とのコミュニケーションを深めるなかで生み出される成果を求めて、長期的な視野で検討を重ねていくことが望まれる。